

平成30年度 国語 「国語表現基礎」 シラバス

科目名	国語表現基礎	学年	2・3年
単位数	2単位	留意点	「国語総合」履修後の選択科目である。表現学習の全課程をとらえて、コミュニケーションの総合的な力を身につける。
選択・必修	選択		
教科書	『国語表現 改訂版』(教育出版) 国評306		

◎科目の目標

国語を適切に表現し、的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。

◎評価の観点

a 関心・意欲・態度	b 話す・聞く能力	c 書く能力	d 読む能力	e 知識・理解
国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えを深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身につけている。

◎授業計画

	単元・教材名	学習内容	評価の観点
4 ・ 5 月	1 コミュニケーションのために ○ジェスチャーゲーム ○質問して当てよう ○他己紹介をしよう	○言葉以外の方法で情報を伝えることの効果的な方法を学ぶ。 ○推論しながら相手の意図をくむ、効果的なインタビューの方法について学ぶ。	a・e b・c・d
	2 文章表現の基礎 ○表記の仕方 ○語句の用法と文の区切り方 ○文章のリフォーム ○わかりやすい説明の方法	○文章表現の基礎を学ぶ。 ○適切な文章を書くために、語句の使い方や文の区切り方を学ぶ。 ○推敲の要点を理解し、情報を取捨選択し、整理・記録するための基本的な技術を学ぶ。	a・c・e d・c・e a・c・e
6 ・ 7 月	3 小論文I ○意見を論理的に述べる ○セルフ・ディベート ○文章の「型」 ○構成ノート ○テーマ型小論文の実際	○小論文は根拠に支えられた意見を述べるものであることを理解し、意見文の学習で学んだことをふまえて「課題型小論文」を書く技術を身につける。 ○課題文を批判的に検討するための観点として、キーワードや引用されている言葉、筆者の理想などを検討することを学び、自分の考えを広げたり深めたりする。 ○自分の考えをメモを取りながら整理する「マップ法」を学び自分の考えを深め、主張を明確にする。	a・c a・e a・e・c
	4 声の表現 ○声を出そう ○文字を声に変える ○スピーチの方法 ○声の発表会	○声を発する具体的な馬券を想定した学習を通して、音声言語による表現方法の基礎を学ぶ。 ○スピーチのための事前の準備について理解し、本番の体験を通して、その方法を学ぶ。 ○他者の興味・関心をひく本の紹介と朗読の工夫について学ぶ。	a・b・e b・a・c a・e・b
8	5 人とつながる言葉	○言葉の性質や言葉と人間との関わりについて理解する。	a

・ 9 月	○挨拶と人間関係 ○待遇表現 ○励ます言葉・受け入れる言葉	○挨拶が人間関係や社会生活にどのような影響を及ぼしているかを理解し、自らの言語生活を検証する。 ○自己表現としての敬語の使用方法を理解する。 ○言葉の可能性と危険性を理解し、「聴く」ことについて学ぶ。	a・e a・b・c a・b
	6 面接 ○自分を知る ○相手を知る ○模擬面接をする	○面接を通して社会への参加能力を学ぶ。 ○自己分析をとおして自分を理解し、自己アピールを作成する。 ○面接における心構えと技術を習得する。 ○模擬試験を通して面接の基本事項を学び、実践力を身につける。	a・e c・e a・b・e a・b・e
10 11 月	7 言葉遊びと創作 ○言葉遊び ○漢字パズル ○川柳を作る ○俳句・短歌を作る ○詩を作る	○言語による表現の娯楽性的・創作的な側面を理解する。 ○言語生活の歴史的・社会的広がり学ぶ。 ○言葉遊びの体験を通して、言語表現の多様な側面を理解し、楽しさを味わう。 ○川柳の実作を通して、言語の持つ批評性を理解する。 ○韻文を理解し、実作やパロディなどの二次創作に取り組む。	a・e a・e a・c・e a・c a・c・e
	8 言葉を届ける ○電子メール ○電話とメモ ○手紙	○コミュニケーションのルールを理解し、実際のコミュニケーションに生かす。 ○電話、通信文を学習することで、実用的なコミュニケーションの技術を高める。	a・e・b a・e・c
12 ・ 1 月	9 プレゼンテーションの方法 ○プレゼンテーションの技術 ○プレゼンテーションの実際 ○スライドを使ったプレゼンテーション	○プレゼンテーションの流れを理解し、説得力のある話し方の技術を学ぶ。 ○「自分の広告」を作り、構成や効果的な話し方の技術を習得する。 ○プレゼンテーションの表現要素、情報の視覚化の方法について学び、実際にプレゼンテーションを行う。	a・e a・e・b a・b
	10 小論文Ⅱ ○要約の方法 ○課題文から問いを見つける ○課題分型小論文の実際 ○データを読む ○データ型小論文の実際 ○引用と情報源の明示	○要約の方法を理解する。読解力と表現力を身につける。 ○課題小論文の特徴を理解し、要約や引用の仕方を学ぶ。 ○課題分型小論文を書く。 ○グラフ、データ、表の読み方を理解する。 ○データから読み取れた事項がどのように文章に展開されているかを理解する。 ○論理的な意見を述べる力を身につける。 ○引用のルールやマナーを理解し、執筆に必要な事項を学ぶ。	a・e a・e c・e d・e a・d a・c・e a・c・e
2 ・ 3 月	11 話し合いの方法 ○ブレインストーミング ○ディベートの方法 ○意志決定・合意形成のための会議	○目的に合わせた話し合いの形式や手法を学ぶ。 ○ディベートの流れと決まりを確認し、論理についての調査から立論までの方法を学ぶ。 ○ディベートにおける言葉の使い方や発言の技術を学び、ディベートを実践する。 ○家族会議の記録を題材に、意志決定や合意形成の方法やルールを理解する。	a・e a・e a・b・e a・e・c

◎評価の方法

- ・評価は、毎時間の出席状況、授業・課題への取り組み状況（関心・意欲・態度）を中心に、小テスト（知識・理解）、発言や提言（思考・判断）などを総合的に判断して行う。
- ・小テストは、漢字・語句に関するものや、古典学習時には、学習内容に関連したものを実施する予定である。
- ・グループによる調べ学習、発表の授業とレポートの提出を予定している。
- ・グループ学習による発表学習については、担当教員の評価の他、生徒相互による評価も行い、担当教員が実際の評価を決める際の資料として活用する。
- ・なお、年間授業時間数の1/3以上を欠席すると、単位を認定しない。